

まず景気回復、そして財政再建を

太田

「勢いある日本」再建に全力!

「勢いのある日本」への方途を探るべく、経済政策が専門で、若手経済学者としても注目を集める駒澤大学経済学部の飯田泰之准教授と太田あきひろが語り合いました(公明新聞より抜粋して転載)。

件です。の全体像を示すことなどが前提条件です。

太田 財政再建は、もちろん大事ですが、それには景気回復を真っ先に進めなければなりません。消費税率の引き上げは、景気の好転や行政改革の推進、確たる社会保障の全体像を示すことなどが前提条件です。

飯田 政府の方針は、財政破綻したギリシャのやり方と同じです。ギリシャの消費税率は当初12%で軽減品目も多かった。その後、財政再建を理由に税率を23%まで引き上げ、軽減品目も縮小しましたが、財政は好転しませんでした。「ギリシャ化を防げ」と言いながら、猪突猛進、ギリシャになろうとしているのです。

【次ページへ続く】



太田

経済の現場の元気を取り戻せ

飯田

増税先行で財政再建した国はない

太田総支部長 社会保障と税の一体改革が大きなテーマとなつていますが、このままでは「ズルズルと増税が進み」「ズルズルと社会保障が縮小」されるのではないかと、ここを一番、懸念しています。

飯田准教授 将来どういふ社会保障構造にするのかを示すことが大事で、増税の議論だけ先行させても国民が納得しないのは当然です。



飯田

東京12総支部ニュースに寄せて

公明党東京12総支部
太田あきひろ総支部長

今、日本の先行きが危惧されています。震災復興では、国の支援が遅すぎます。外交の立て直しも急務です。特に景気・経済、デフレ、円高に無策の政治を変え、中小企業や産業支援に力を注ぐことが喫緊の課題です。

“八方美人の政治”は、即、“八方ふさがりの政治”。リスクを負ってもやり抜く、覚悟の政治が必要です。「政治は結果」——徹底して現場第一、行動第一で、「安全・安心で勢いのある国づくり」をめざし、一生懸命、全力で戦ってまいります。ますますのご支援を、何とぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

自民党
石原伸晃幹事長

公明党と私も自民党は、東日本大震災の復興支援をはじめ、正しいことは正しいと共闘してきました。太田さんには昨年の自民党東京都連定期大会にもお越しいただいて、「北区・足立区西部地域は太田さんにやっていただく」ということで、満場の拍手でした。

東京12総支部、そして太田さんが、東京における公明党・自民党の勝利の基本に在るということをお私共も肝に銘じて、共に邁進させていただきたいと願ひしております。

日本再建へ4つの全力。

1 経済危機の克服に全力。——政治の推進役として

東日本大震災の復旧・復興とデフレの克服・円高対策 まず景気回復、そして財政再建

中小企業支援・企業税制支援・アジア市場の開拓と需要の拡大を推進

議員歳費削減などムダゼロを徹底 「防災・減災ニューディール」として社会インフラ更新などに集中投資

実現しました

- 信用保証協会の特別保証制度や売掛債権担保融資保証制度を創設
- 中小企業の留保金課税を撤廃
- 雇用を守る雇用調整助成金を拡充

2 安心社会の実現に全力。——生活者の一人として

安心の医療・年金・介護と高齢者雇用の充実 深刻化するうつ病対策を推進

若者雇用・仕事と生活の調和・保育所と児童手当拡充で骨太の子育て支援

実現しました

- 児童手当・出産育児一時金・奨学金などを拡充
- 駅にエレベーターやスロープ設置を促す交通バリアフリー法等を制定
- 医療・介護費用の負担軽減を図る「高額医療・高額介護合算制度」を創設

3 災害に強い都市へ全力。——地震対策のエキスパートとして

脆弱国土・日本に総合的なインフラ整備を 首都を直撃する巨大地震に備え、耐震・津波・液状化・火災への抜本対策

ゲリラ豪雨など都市型災害と水害への対策を拡充

実現しました

- 学校耐震化を訴え全国公立小中学校の80.3%が耐震化(2011年4月現在。東北3県を除く)
- 地震発生時の調査・研究、初動の迅速化のために震度観測点を大幅拡充
- 大規模災害などによる被災者を支援する改正被災者生活再建支援法の成立を推進

4 北区・足立区の実現に全力。——地元の代表として

地域医療のため国立印刷局東京病院の機能存続 地元と共存共栄の駅周辺再整備で賑わいの拠点を創出

日暮里・舎人ライナー駅周辺の開発整備とバス等との結節強化

実現しました

- 公明主導の議員立法を支え東京北社会保険病院を存続
- 日暮里・舎人ライナーの早期開業・車輻改善・朝と夜の増便に尽力
- 五輪選手を育成するナショナルトレーニングセンターを大幅に拡充・整備

ホームページが全面リニューアル!

「いまも全力」な太田あきひろをお伝えします。ぜひ、ごらんください。

<http://www.akihiro-ohata.com/>

メールマガジンも配信中!

※携帯電話で受信する場合、登録およびメルマガ受信時にパケット通信料がかかります。

太田からあなたへ、直接届くメッセージ。週1回程度の配信です。

ご登録は、右のQRコードからか、あて先に直接「p-ohata@w.bme.jp」を入力し、空メールを送信してください。

